

# ■ 調査から

## 実収入は小幅な伸び、0.3%の増(勤労者世帯)

昭和58年茨城県消費実態調査結果から

### 1. はじめに

この調査は県内に居住する世帯について、消費生活の実態を調査し、消費の水準とその構造および地域差を明らかにし、行政施策立案の基礎資料を提供することを目的とするもので、9月1か月間調査を実施しました。

もとより1か月間の抽出調査であるため、資料として内容的には不十分な点も多々あると思いますが、いささかでも参考になれば幸いです。

### 2. 調査の方法

#### (1) 調査の対象

調査の対象は県内に居住する世帯で次にあげる世帯は除いた。

- ア. 耕地面積10a以上の農家、および10a未満でも農業粗収益が10万円以上の世帯、林業・漁業世帯
- イ. 料理飲食店、旅館、下宿屋(賄付の素人下宿を含む)を営む併用住宅の世帯
- ウ. 住み込みの雇用者が4人以上いる世帯
- エ. 単身者世帯、外国人世帯、世帯主長期不在世帯

#### (2) 標本抽出の方法と集計表

層化3段抽出(市町村、調査地区、調査世帯)方法によって26市町村、55調査区、660世帯を抽出し、家計調査分と合わせ29市町村、67調査区、804世帯として集計した。主要耐久消費財は家計調査分はない。(表-1)

#### (3) 調査事項

ア. 収入を支出(ただし、一般世帯は支出のみ)

イ. 主要耐久消費財所有状況

ウ. 世帯員および住居の状況

#### (4) 世帯区分

調査世帯の全部を「全世帯」といい、これを世帯主の職業によって「勤労者世帯」と「一般世帯」とに分けている。

勤労者世帯……世帯主が会社、官公庁、学校、工場などに勤めている世帯

表-1

区 分	調 査 世 帯			抽 出 率
	本調査分	家計調査分	計	
県北平坦地域	132	96	228	1/720
県北山間地域	144	—	144	1/330
鹿行地域	120	—	120	1/300
県南地域	180	—	180	1/720
県西地域	84	48	132	1/630
計	660	144	804	—

一般世帯……商人、職人、法人経営者、自由業者、無職、会社団体の役員の世界帯

#### (5) 有業人員

勤め先のある者、自由業主、家族従業者、内職者(収入が毎月おおむね1万円以上になるもの)

#### (6) 調整集計

地域別に調査世帯の抽出率が異なるので、これを調整して集計を行った。

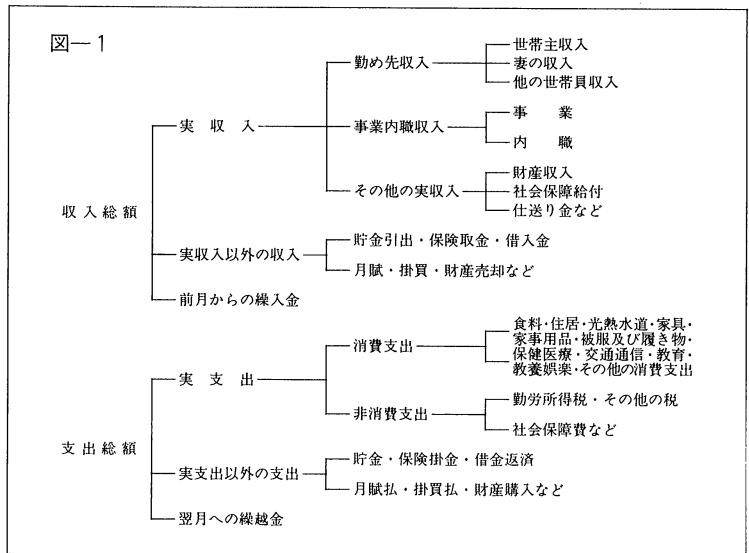
#### (7) 家計収支の構成(図-1)

#### (8) その他

$$\text{エンゲル係数} = (\text{食料} \div \text{消費支出}) \times 100$$

$$\text{可処分所得} = \text{実収入} - \text{非消費支出}$$

$$\text{平均消費性向} = \text{消費支出} \div \text{可処分所得}$$



# 調査から

表一 2 全世帯の消費支出

区 分	実 数		構 成 比 (%)		対前年同期増減率(名目) (%)		同実質増減率 (%)	
	57 年	58 年	57 年	58 年	57 年	58 年	57 年	58 年
消費支出	259,488	258,113	100.0	100.0	3.3	△0.3	△0.9	△0.8
食 料	75,552	74,676	29.1	28.9	2.1	△1.2	△3.1	△0.3
住 居	8,929	8,369	3.4	3.2	3.2	△6.3	△1.2	△8.8
光熱・水道	15,185	16,038	6.0	6.2	1.6	5.6	△0.3	7.2
家具・家事用品	11,579	9,135	4.6	3.5	△0.8	△21.1	△0.7	△20.4
被服及び履き物	18,285	15,573	6.0	6.0	21.3	△14.8	17.8	△18.2
保健医療	7,334	6,925	3.0	2.7	△3.4	△5.6	△5.3	△6.3
交通・通信	27,887	28,592	9.4	11.1	18.0	2.5	13.6	4.8
教 育	14,585	19,256	4.7	7.5	23.5	32.0	17.1	24.1
教 養 娯 楽	15,982	16,624	6.3	6.4	1.6	4.0	△3.1	2.6
その他の消費支出	64,172	63,423	27.1	24.5	△5.8	△1.2	△7.5	△5.8

表一 3 年代別消費支出の比較 (全世帯)

区 分	平 均	20歳以下	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60歳以上
集 計 世 帯 数	800	43	205	243	186	123
調 整 集 計 世 帯 数	46,070	2,504	12,029	13,890	10,562	7,088
世 帯 人 員 数	3.78	3.41	4.19	4.25	3.55	3.93
有 業 人 員 数	1.73	1.28	1.44	1.71	2.07	1.93
世 帯 主 の 年 齢	46.80	27.70	35.10	44.20	54.60	66.60
消費支出 実数(円)	258,613	196,172	225,171	270,249	324,880	215,875
消費支出 比率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食 料	28.9	24.5	31.4	30.8	22.7	35.0
魚 介 類	4.0	2.8	3.9	4.2	3.3	5.3
肉 類	3.0	2.5	3.3	3.4	2.3	3.3
外 食 費	3.5	3.6	4.5	4.1	2.3	3.4
住 居	3.2	8.1	3.8	3.2	1.9	3.9
家 賃 地 代	1.7	8.0	2.7	1.2	0.6	1.7
設 備 修 繕 ・ 維 持	1.5	0.1	1.1	2.0	1.3	2.1
光 熱 ・ 水 道	6.2	5.3	5.8	6.0	5.6	9.1
家 具 ・ 家 事 用 品	3.5	6.7	3.1	3.6	3.3	3.5
被 服 及 び 履 き 物	6.0	7.1	6.0	6.2	5.8	5.6
衣 料	4.1	5.4	4.0	4.3	3.8	4.0
保 健 医 療	2.7	3.0	2.3	2.4	2.8	3.7
交 通 通 信	11.1	17.9	15.5	9.0	9.4	9.6
自 動 車 等 関 係 費	7.2	14.2	12.1	5.1	5.8	4.5
教 育	7.4	2.1	4.2	8.2	12.3	2.2
教 養 娯 楽	6.4	4.4	6.7	7.0	5.9	6.5
その他の消費支出	24.5	21.0	21.3	23.5	30.3	20.9
仕 送 り 金	3.5	0.0	0.2	2.9	8.2	1.3
交 際 費	7.4	6.9	6.7	7.0	7.6	9.6
た ば こ	1.0	0.8	1.0	1.0	0.9	1.7

名目増加率=対前年同期

増加率

実質増加率

$$= \left( \frac{\text{名目の増加倍率}}{\text{消費者物価指数の倍率}} - 1 \right) \times 100$$

## 3. 調査結果の概要

### (1) 概 況

昭和58年全世帯の消費支出258,613円は、57年に比べ名目で0.3%減少し、物価上昇分を除く実質では0.8%減少した。

勤労者世帯と一般世帯の消費支出を比較すると、一般世帯の方が0.8%とわずかながら高くなっている。

勤労者世帯の実収入の伸びは、前年に比べ1.3%増加したが、実質では0.8%の増加にとどまった。

平均消費性向は、87.0%で前年の87.1%を0.1ポイント上回った。

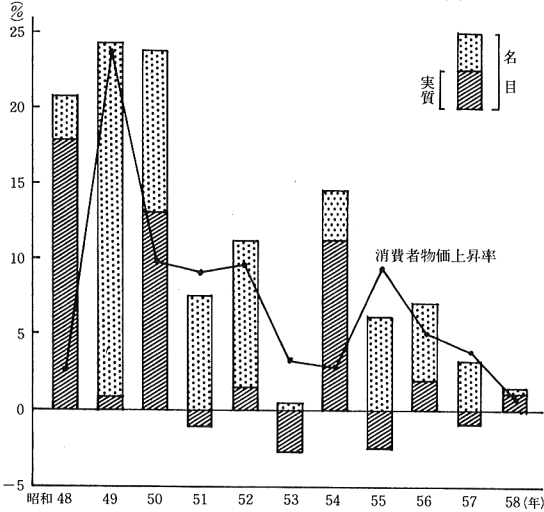
### (2) 全世帯の家計

消費支出を10大費目別にみると、57年より実質で増加したのは、教育(24.1%)、光熱・水道(7.2%)、交通・通信(4.8%)、教養娯楽(2.6%)であり、減少したのは被服及び履き物(18.2%)、住居(8.8%)、保健・医療(6.3%)、食料(0.3%)、その他の消費支出が(5.8%)である。(表一2)

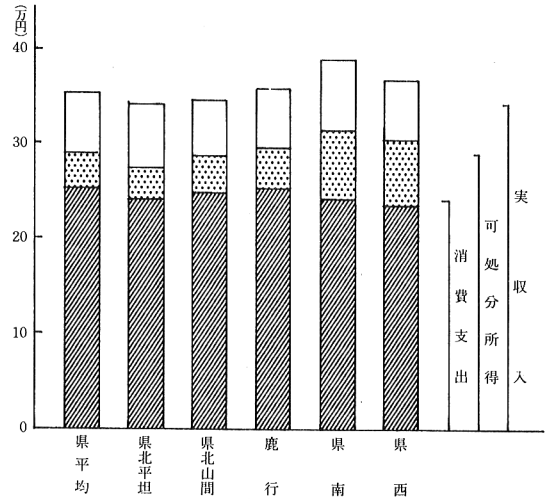
### (3) 世帯主の年代別の消費支出(全世帯)

年代別の消費構造は、次の

図一 実収入の対前年増加率（勤労者世帯）



図二 地域別実収入と消費支出（勤労者世帯）



とおりである。(表一 3)

ア. 消費支出の最高は50歳代

1世帯当たりの消費支出は50歳代が324,880円と最も高く、平均258,613円を大きく上回っており、次いで40歳代の270,249円が高く、30歳代、50歳代、29歳以下は平均を下回っている。

イ. エンゲル係数は60歳代以上が高い

消費支出の食料に占める割合は、60歳以上が35.0%であり、50歳代は22.7%と最も低くなっている。

ウ. 若年層は住居、被服、交通費の割合が大きい。

29歳以下の世帯では自動車等の割合が14.2%と大きく、家賃・地代8.0%、被服・履き物が7.1%と高くなっている。

エ. 高年層は、光熱・水道と交際費が高む

60歳以上の世帯では、光熱・水道が、9.1%と平均を上回り、交際費も9.6%と、最も高くなっている。

(4) 勤労者世帯の家計収支

ア. 実収入の伸びは前年同期に比べ実質で0.8%とわずかながら増加した。(表一 4)

世帯主の収入は前年同期より2.2%、妻の収入は0.6%実質増加した。

イ. 消費支出は、実質で0.3%の増加となったが10大費目別にみると増加したのは教育(30.2%)、交通・通信(12.0%)、家具・家事用品(10.9%)、住居(5.5%)、光熱・水

表一 4 勤労者世帯の収入

区 分	実 数 (円)		構 成 比 (%)		名目増加率 (%)		実質増加率 (%)	
	57 年	58 年	57 年	58 年	57 年	58 年	57 年	58 年
収 入 総 額	581,236	587,248	—	—	—	—	—	—
実 収 入	345,748	350,405	100.0	100.0	3.0	1.3	△1.2	0.8
勤め先収入	327,959	336,891	94.9	96.1	3.4	2.7	△0.8	2.2
世帯主収入	280,533	290,010	81.1	82.8	1.3	3.4	△2.8	2.9
妻の収入	35,112	35,504	10.2	10.1	25.4	1.1	20.3	0.6
他世帯員収入	12,314	11,376	3.6	3.2	0.5	△7.6	△3.6	△8.1
事業内職収入	5,767	4,730	1.7	1.3	△16.8	△18.0	△20.2	△17.5
他の実収入	12,021	8,785	3.5	2.5	3.5	△26.9	△0.7	△27.3
実収入以外の収入	142,449	142,177	—	—	67.1	△0.2	60.4	△0.7
繰 入 金	93,038	94,666	—	—	△8.4	1.7	△12.1	1.2

表一五 勤労者世帯の消費支出

区 分	実 数 (円)		構 成 比 (%)		名目増加率 (%)		実質増加率 (%)	
	57 年	58 年	57 年	58 年	57 年	58 年	57 年	58 年
消 費 支 出	248,803	250,904	100.0	100.0	3.4	0.8	0.2	0.3
食 料	72,025	70,145	28.9	28.0	1.6	△2.6	△3.6	△1.7
住 居	8,545	9,252	3.4	3.7	4.4	8.3	△0.1	5.5
光 熱・水 道	13,962	14,086	5.6	5.6	1.4	0.9	△0.5	2.4
家具・家事用品	7,670	8,429	3.1	3.4	△21.3	9.9	△21.2	10.9
被服及び履き物	16,627	14,438	6.7	5.8	13.5	△13.2	10.2	△16.7
保 健 医 療	6,562	5,659	2.6	2.3	△7.4	△13.8	△9.2	△14.5
交 通 通 信	26,590	29,128	10.7	11.6	6.7	9.5	2.7	12.0
教 育	13,635	18,878	5.5	7.5	12.4	38.5	6.5	30.2
教 養 娛 楽	16,835	17,078	6.8	6.8	11.1	1.4	5.9	0.0
その他の消費支出	66,353	63,811	26.7	25.4	3.7	△3.8	1.9	△8.3

表一六 年代別、収入・支出の比較（勤労者世帯）

区 分	平 均	29歳以下	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60歳以上
実 収 入 実数(円)	350,405	261,025	315,234	366,136	423,612	336,992
比 率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
世 帯 主 収 入	82.8	83.2	86.9	84.5	78.3	65.1
妻 の 収 入	10.1	10.8	8.9	10.2	12.7	3.6
他の世帯員収入	3.2	2.9	1.2	1.3	5.9	18.2
消 費 支 出 実数(円)	250,904	193,989	221,380	265,798	309,103	213,658
比 率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食 料	28.0	24.6	30.6	29.7	22.6	30.6
魚 介 類	3.7	2.7	3.7	4.1	3.4	5.1
外 食 費	3.7	3.7	4.4	3.8	2.7	2.9
住 居	3.7	7.6	3.9	3.3	2.0	9.5
家 賃・地 代	2.0	7.5	3.0	0.9	0.4	4.1
設 備 修 繕・維 持	1.7	0.1	1.0	2.4	1.6	5.4
光 熱・水 道	5.6	5.1	5.9	5.6	5.0	8.2
家具・家事用品	3.4	3.9	3.0	3.6	3.3	3.6
被 服 及 び 履 き 物	5.8	7.5	5.8	5.6	5.7	4.0
衣 料	3.7	5.7	3.7	3.6	3.5	2.7
保 健 医 療	2.3	3.3	2.1	2.3	1.9	3.3
交 通 通 信	11.6	19.3	15.2	9.1	8.6	12.8
教 育	7.5	2.2	4.2	7.9	13.5	0.5
教 養 娛 楽	6.8	4.8	6.9	7.3	6.8	5.1
その他の消費支出	25.4	21.8	22.3	25.5	30.6	22.5
交 際 費	7.6	6.8	6.8	7.3	9.0	8.1
仕 送 り 金	3.3	0.0	0.1	2.8	9.3	0.0

道(2.4%)であり、減少となったのは被服及び履き物(16.7%)、保健医療(14.5%)、食料(1.7%)、その他の消費支出(8.3%)である。

ウ. 家計収支のバランスでは、実収入から税金、社会保険料などの非消費支出を差し引いた可処分所得(手取り収入)は前年同期に比べ実質で0.4%の増となった。

(表一五)

(5) 世帯主の年代別の家計収支(勤労者世帯)(表一六)

ア. 実収入、消費支出ともに50歳代が最も高い

世帯主の年代別に実収入をみると、50歳代が423,612円で平均350,405円を大きく上回り、消費支出も、331,720円と最も高くなっている。

イ. 妻の収入も50歳代が高い

実収入のうち、妻の収入は、12.7%と50歳代が高くなっており、40歳代、30歳未満も1割を越している。

(6) 地域別の比較(表一七)

ア. 消費支出は鹿行が高い(全世帯)

全世帯の消費支出を地域別にみると、県平均100に対して、鹿行が14.0%高くなっており、県北平坦が11.1%低くなっている。

内訳では教育が、県南、県西で県平均を40%を越えて高くなっており、県北平

表一七 地域別、消費支出の比較（全世帯）

区 分		県 平 均	県 北 平 坦	県 北 山 間	鹿 行	県 南	県 西
実 数  (円)	消 費 支 出	258,613	229,958	237,846	294,920	286,363	268,739
	食 料	74,676	67,718	78,061	83,136	80,370	74,109
	住 居	8,369	8,445	6,676	10,424	10,315	5,243
	光 熱 ・ 水 道	16,038	12,997	15,403	19,107	19,435	15,847
	家具・家事用品	9,135	7,024	9,709	10,258	10,751	10,024
	被服及び履き物	15,573	14,377	15,270	19,229	16,057	15,804
	保 健 医 療	6,925	6,659	6,832	6,757	6,690	7,956
	交 通 通 信	28,592	27,907	21,406	32,864	32,108	26,708
	教 育	19,256	9,143	13,140	21,601	28,669	27,263
	教 養 娛 楽	16,624	16,958	15,212	16,678	15,631	18,298
その他の消費支出	63,423	58,729	56,137	74,865	66,338	67,487	

坦は52.5%も下回っている。

#### イ. 実収入は、県南が高い（勤労者世帯）

実収入は県平均より県南、県西、鹿行の順に高まっており、県北は、平坦、山間共に下回っている。

勤め先の収入のうち、妻の収入が鹿行で33.8%高く、実収入に占める妻の収入割合を、55年からみると、各地域とも上昇している。

#### (7) 主要耐久消費財

全世帯の主要耐久消費財所有数量の動向は次のとおりである。

##### ア. 一般家具

53年からみて伸びた主な家具は応接セット31.4%、和だんす、整理だんす23.9%、食堂セット23.7%、ステンレス流し台7.1%、洋服だんす6.2%、ベット3.7%である。

##### イ. 一般家事用品

57年と比較して、ふとん乾燥機が27.5%増加し、オーブン8.6%、電気冷蔵庫の大型が6.6%、電気洗たく機5.4%等が続いている。

##### ウ. 冷暖房器具

ルームエアコンは53年からみて55.4%と伸び、冷房用は57年と比較すると、17.3%増加している。

石油ストーブ、ガスストーブ等は、53年からみて、徐

々に減少し、かわって温風ヒーター、ルームエアコン等に移行の傾向にある。

##### エ. 教養娯楽用品・その他

乗用車(新車)を53年からみると、44.2%増加しているが、前年と比較すると、2.7%減少している。

ライトバンも前年比較では68.7%とかなり増え、電動工具セット45.2%、ビデオテープレコーダーが23.5%、8mm・16mm撮影機が13.6%と続いている。

(統計課・農林経済グループ)